

2. 35

PDA山口県高等学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2018年11月10日(土) 13:00-17:00

会場：山口県立山口高等学校

参加校：6校(山口高校、下関西、徳山高校、萩高校、宇部高校、大津緑洋高校)

参加者：生徒41名、教員14名

スタッフ：PDAスタッフ、九州大学、一橋大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)、山口県立山口高校

助成：公益財団法人 日本財団

開会式では、会場校の山口高校校長 栗林先生より、「このディベートの特徴は『即興性』にあると思います。準備のできるスピーチコンテストなどとは異なり、テーマ発表の15分後には試合が始まり議論を行います。英語で行うことにより得られる力はすさまじいものです。Practice makes perfect.です。また、今回は『交流大会』ですので、make friendsを大事に頑張ってください。」などエールが送られました。

次に、PDA代表理事である中川智皓(大阪府立大学工学研究科准教授)より挨拶があり、PDAスタッフより6校の学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をし、交流に向けた挨拶となりました。その後ルールの復習、POIの確認を再度行いました。POIの練習では全員が元気にPOIをすることができました。そして、早速1ラウンド目の対戦表が発表されました。



栗林校長(山口高校)



PDA代表理事 中川



全員でPOIの練習

第1ラウンドのお題は「*Ambulance services should be charged.* (救急車の利用を有料化すべきである。)」でした。第1ラウンドからとても白熱したディベートが繰り広げられました。準備時間中は、全体的に緊張している姿も見られましたが、いざラウンドが始まるとチームワークを発揮してディベートを行うことができました。また、序盤から活発にPOIが飛び交いました。



チームメイトと準備



POIで質疑応答



ディベート後の握手



ディベート後の意見交換

続く第2ラウンドのお題は、「*We should prohibit cosmetic surgery.* (美容整形を禁止すべきである。)」でした。自分の見聞きしたことのあるニュースなどの事例を紹介しながら具体的な説明をすることができたチームも多くありました。ラウンドが終わると、両チームとももっとこういうことを言いたかったなどディベートの内容に関する意見交換を始め、交流を深めることができました。



POI (質疑応答)



Make friends

そしてエキシビションディベーターに推薦された6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*Homework assisting services should be prohibited.* (宿題代行サービスを禁止すべきである。)」です。今日初めて会った他校の生徒とチームワークを発揮することができました。即興型の英語ディベートをするのは今日が初めてという生徒も交え、協力し合うことができました。様々な生徒の様々なニーズにどこまで応えるべきなのか、宿題代行サービスがどれほど学力に影響するのかなどの論点について大勢が見守る中堂々とスピーチすることができました。とても接戦でしたが、オーディエンスの投票およびチーフジャッジの投票により、Government (肯定) の勝ちとなりました。



時間いっぱい準備



視線を浴びながら、堂々とスピーチ



活発なPOI



まとめのスピーチ

閉会式では、山口県教育委員会の富山先生より”Good Job!”と労いのお言葉をいただきました。また、山口高校教頭 吉地先生より、「ディベートはボクシングと似ています。勝ったら満足。負けたら悔しい。今回皆さんは全員『勝ち』だと思います。なぜならみなさん今日という1日に満足したはずだからです。実践が大事なので、今日はみなさんにとって実践のいい機会だったと思います。これからも継続的に実践を続けてください。」と激励のお言葉をいただきました。



【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- PM ■■■さん (宇部)
- LO ■■■さん (徳山)
- MG ■■■さん (下関西)
- MO ■■■さん (萩)
- LOR ■■■さん (山口)
- PMR ■■■さん (大津緑洋)



エキシビジョンディベート Government Opposition

〈チーム賞〉

- 1st 大津緑洋 A (2 wins)
- 2nd 大津緑洋 B (2 wins)
- 3rd 萩 A (2 wins)
- 4th 徳山 A (2 win)
- 5th 山口 A (1 win)



1位 大津緑洋 A



2位 大津緑洋 B

〈ベストディベータ賞〉

- 1st ■■■ (山口 A)
- 2nd ■■■ (大津緑洋 A)
- 3rd ■■■ (大津緑洋 A)
- 3rd ■■■ (大津緑洋 A)
- 5th ■■■ (大津緑洋 B)
- 5th ■■■ (萩 A)
- 7th ■■■ (山口 B)
- 7th ■■■ (大津緑洋 B)
- 9th ■■■ (宇部 B)
- 10th ■■■ (山口 D)
- 10th ■■■ (大津緑洋 B)



ベストディベータ賞



3位 萩 A

〈POI 賞〉

- (山口 B)
- (大津緑洋 B)
- (大津緑洋 A)
- (山口 A)
- (下関西 C 大津緑洋)
- (宇部 B)



ベスト POI 賞



4位 徳山 A



5位 山口 A

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 自分の英語力や説明力についての課題を見つけられてよかったと思う。英語ということで難しく、うまく言えないこともあったけれど、みんなで助け合って、相手の方々ともお話できたので面白かった。【徳山】
- 英語で、しかも即興型というディベートは想像以上に難しかった。ただ、エキシビジョンディベートを見るのはすごく楽しくて、また自分もあのようになりたいと思った。【徳山】
- モーションが面白くて楽しかったです。また、交流することで新しい意見も取り入れることができてよかったです。【大津緑洋】
- とても exciting でした。【大津緑洋】
- このような即興型のディベートを行う機会は普段の授業でも何回かありましたが、今回のように他校と対戦して、緊張であり思うようにいかなかったのが印象的でした。しかし、他の高校の生徒と意見を述べ合うのは楽しかったのでこのような機会があればまた参加したいです。
【山口】
- 英語を話せる人もあまり得意に話せない人も必死に何かを伝えようとしていて刺激を受けた。また英語のできる人にどういう方法で英語勉強しているか聞いている人もいて自分も頑張ろうと思いました。【山口】
- 即興型ということで瞬時に答えが求められるというのが難しく、とても頭を使いました。今後もこのような機会があれば積極的に参加して頭の回転がもっとはやくなるように、また英語がもっとうまくなるように頑張りたいです。【宇部】
- 自分たちのディベートを評価してもらい、今後改善するためのアドバイスが得られモチベーションが高まった。【萩】
- 今回ディベートを通して自分が作った英文が他の人にも伝わり、また他の人の意見も聞くことができたのがディベートや英語の楽しさを知る良い機会になったので参加してよかったです。これをかてに日頃の英語の勉強も楽しんでいきたいです。【下関西】

教員の声

- 協働して考えて楽しそうにディベートをしているのを見てこれからも続けていきたいと思いました。
【徳山】
- 英語力のみならずコミュニケーション力の向上にもつながったと思います。【大津緑洋】
- どの生徒もこうやって経験することで英語学習の大きな動機付けになったのではないかと思う。
【山口】
- ジャッジをさせていただきましたが、改めてジャッジの難しさを感じました。短い時間しか準備ができない状況で（生徒も）よく集中して頑張っていたと思います。【宇部】